

ハイパフォーマンス・コア・サイエンス の未来志向

—今後 求められる人材とは—
—オーストラリアやグローバルな視座からのメッセージ—

本事業では、我が国の国際競技力向上を目的とした実践的・先端的ハイパフォーマンス アスリート支援研究を担いその研究成果が現場に実装されるように推進する、中心的な若手人材（ハイパフォーマンス・コア・サイエンティスト）の育成・養成を目的の一つとしています。

その取り組みの一環として、「そのハイパフォーマンス・コア・サイエンティストにもとめられるコンピテンシーや研究力量、人材像」について運動スポーツ医・科学の国際的トップ研究者から具体的な研究成果や現場実践をふまえてご講演いただき、関係者の議論を通じて、育成の方向性を確認、共有することを趣旨としています。



PROGRAM

16:20

開会挨拶 伊坂 忠夫（拠点リーダー、スポーツ健康科学総合研究所長、立命館大学副学長）
スポーツ庁代表挨拶 日比 謙一郎（スポーツ庁競技スポーツ課 課長）



「ハイパフォーマンス・アスリート極限支援研究拠点
若手人材育成パスウェイの紹介」

コーディネーター 橋本 健志（立命館大学スポーツ健康科学部 教授）

「ハイパフォーマンス・コア・サイエンス」を担う人材
“になる” ために必要なものは？

16:30 講演 野坂 和則先生（オーストラリアエディスコーワン大学・教授）



1995年、横浜市立大学医学部博士号（医科学）を取得。
2004年4月からエディスコーワン大学に移り、2009年より教授。
2016年～医科学健康科学部の運動スポーツ科学部門ディレクター
を経て2022年～同学部の博士課程コーディネーター（現職）。
エキセントリック運動の研究者として世界的に知られ、360編を超える学術研究論文を出している。

17:45 閉会挨拶 橋本 健志

17:50 閉会



参加無料

参加お申込み
はこちら

事前のお申込みをお願いします

12/19 TUESDAY 16:20-17:50

現地会場
立命館大学
びわこくさつキャンパス
ラルカディア 1F 102
オンライン配信あり
(Zoomウェビナー)



JR南草津駅より近江鉄道バス「立命館大学行き」にて約20分

主催：立命館大学スポーツ健康科学総合研究所
共催：立命館大学大学院スポーツ健康科学研究科
協力：筑波大学、順天堂大学、ハイパフォーマンス・スポーツセンター（HPSC）

立命館大学BKCリサーチオフィス(森・高須) ☎ 077-561-2802 ✉ spo-ins@st.ritsume.ac.jp

